

# 阿南信用金庫 半期開示レポート

## MINI ミニディスクロージャー誌 DISCLOSURE 2025.9

みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

阿南信用金庫は、毎年、経営内容についてディスクロージャー誌を作成し、また、上半期の現況をお知らせする目的で、この半期開示レポートを発行しております。

本年度の半期開示レポートもご高覧賜り、当金庫を従前以上にご理解いただければ幸せに存じます。

今後とも当金庫は、阿南市を主たる営業区域とする地域金融機関として経営の健全性・信頼性の向上に努め、みなさまのご繁栄と地域の発展のために役職員一丸となって努力してまいりますので、なお一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 阿南信用金庫の概要 (2025年9月末現在)

設立	昭和23年5月
会員	8,361名
出資総額	1,165百万円
役職員数	102名
本店	徳島県阿南市富岡町トノ町28番地14
店舗	8店舗

蒲生田岬灯台(直木賞「藍を継ぐ海」表紙のモデル)

あなたの夢の応援団



## 阿南信用金庫

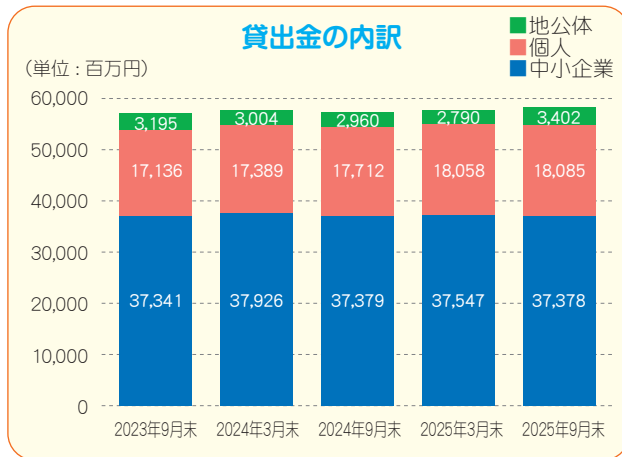
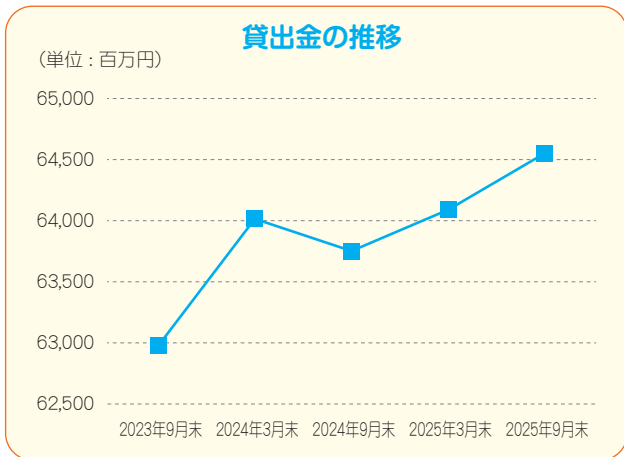
<https://www.shinkin.co.jp/anant/>

# 阿南信用金庫は地域の発展とともに成長しております。

## 業績ハイライト

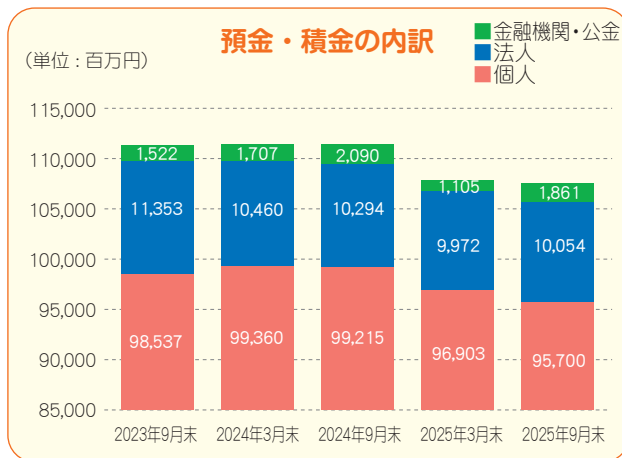
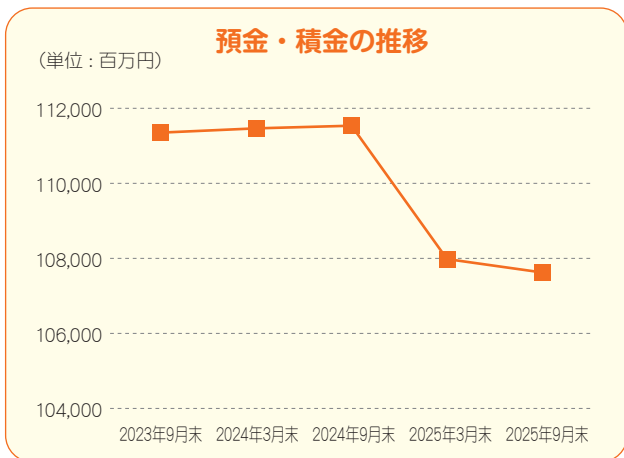
### 貸出金

2025年9月期貸出金残高は、中小企業向けが減少し、個人向け、地公体向けが増加となりました。前期末比は470百万円増加となりました。



### 預金積金

2025年9月期預金残高は、個人向けが減少し、法人向け、金融機関・公金向けが増加しました。前期末比は365百万円減少となりました。



### 損益の内訳

(単位：百万円)

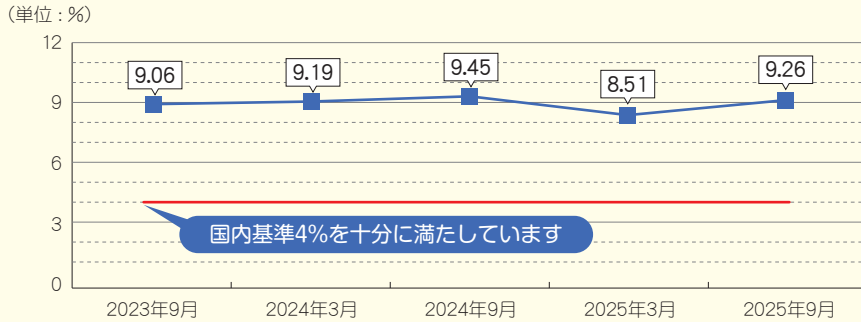
	2025年9月末	2024年9月末	前年同月比
経常収益	1,073	935	137
業務純益	52	168	▲115
実質業務純益	52	168	▲115
コア業務純益	196	191	5
コア業務純益 (投資信託解約益除く)	183	187	▲3
経常利益	262	286	▲24
当期純利益	246	223	23

※2025年度上半期（2025年4月1日から9月30日まで）の損益です。

- 業務純益……業務に必要な経費等を控除した利益で金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。
- 実質業務純益……業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加えた、本来業務からの収益を表すものです。
- コア業務純益……業務純益から国債等債券損益を差し引く一般貸倒引当金繰入額を加えた、業務純益の本来部分を表すものです。
- 経常利益……業務純益に、業務外の損益の差を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示すものです。
- 当期純利益……経常利益に、特別利益と特別損失の差を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

## ■ 単体自己資本比率

### 自己資本比率の推移【単体】



自己資本比率は、健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制（国内基準）に基づく単体自己資本比率は、2025年9月末時点で9.26%となっており、国内基準である4%を十分に満たしております。

## ■ 有価証券の状況

(単位：百万円)

その他保有目的有価証券	2025年9月末					2024年度〈参考〉				
	帳簿価格	時価	評価差額	うち含み益	うち含み損	帳簿価格	時価	評価差額	うち含み益	うち含み損
	24,408	22,798	△1,610	177	1,787	24,893	22,859	△2,034	30	2,065
株式	37	45	7	7	0	37	37	0	1	0
債券	12,172	11,066	△1,106	0	1,106	11,445	10,375	△1,069	—	1,069
その他	12,198	11,686	△511	169	681	13,411	12,446	△965	29	994

(注) 2025年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、その時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理前）と時価との差額を計上しております。なお、その他保有有価証券には時価のない有価証券（6百万円）も含まれております。

(単位：百万円)

満期保有目的有価証券	2025年9月末					2024年度〈参考〉				
	帳簿価格	時価	含み損益	うち含み益	うち含み損	帳簿価格	時価	含み損益	うち含み益	うち含み損
	9,787	8,629	△1,158	—	1,158	10,046	9,105	△940	—	940
債券	9,787	8,629	△1,158	—	1,158	10,046	9,105	△940	—	940
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## ■ 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

(単位：百万円)

	2025年9月末	2024年度〈参考〉
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,572	2,611
危険債権	3,622	3,667
要管理債権	268	268
正常債権	58,914	58,413
合計	65,378	64,960

(注) 上記の2025年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

- 2025年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分（※）を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実並びに債務者区分の変動等があった債務者について、当庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。

※ 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）、危険債権（破綻懸念先）、要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

- 2025年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における残高を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヶ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、③①及び②に該当しなくなった債権、④「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に変更になった債権を減額しております。

なお、1.2における各債務者の債権残高については、9月末時点の残高を使用しております。

- 信用金庫の事業年度は、信用金庫法に基づき、4月1日から翌年3月31日までと定められており、正式な決算につきましては毎年3月31日に行っております。
- 本レポートは、仮決算に基づくもので、正式な決算によるものではありません。
- 損益と自己資本比率は、9月末時点における貸出金の償却・引当等を考慮し、算出しております。
- 本レポートに記載した各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計とは一致しない場合があります。